



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

1. 會田悦陸氏林野庁長官賞受賞!!
2. 第2回木産協三役会開催!!
3. 全木連東北支部総会開催!!
4. 中国木材の能代市進出 (情報提供) !!
5. R3 優良施設コンクール農林水産大臣賞!!
6. 岸田内閣発足農林水産大臣等紹介!!



1 會田悦陸氏が林野庁長官賞受賞!!

第55回全国木材産業振興大会(北海道大会)が10月14日札幌市の北海道立道民活動センター「かでの2・7」で開かれた。この大会において、業界活動に特に貢献した企業団体個人に対し感謝状が贈呈された。林野庁長官賞は東北では本県の(有)アイタ材木店社長會田悦陸氏のみで、県木産協、山形木材業組合、林災防県支部、県広葉樹利用拡大協議会等での事業活動に寄与した功績が認められ、県産木材の利用拡大の推進に貢献したことが評価されたものと推察しています。今回の受賞は本人の荣誉だけでなく、県木材産業業界の誇りでもあります。會田氏におかれましては、今後とも業界後輩たちにも引き続きご指導ご支援をお願いするものであります。



2 第2回木産協三役会開催!!



9月2日(木)森林会館1F会議室にて、第2回の木産協三役会議がコロナ禍でもあり、短時間の対面式で開催された。なお、今回から総会で承認された小関一也副理事長が加わっている。

令和3年度事業活動(前期)の報告と事業計画(後期)案について、専務から報告を受け質疑応答となった。特に素材生産部会の協和木材とのウッドショック等に伴う価格交渉については大幅アップの回答を得ることができた。

また、県からの要請もあり、利用センター業務の検査部門を受託し、JAS検査業務と併行し進めている状況を説明した。さらに、来年に向け組織体制を検討していくロードマップが示された。次回は11月下旬に開催する予定。

お詫び：編集長の病欠(視力回復手術)により、10月号が「木産協だより」発刊以来初めて休刊となりましたこと大変申し訳なくお詫び申し上げます。

3 全国木材組合連合会東北支部総会開催!!

9月28日(火)「ザ・セレクトン福島」にて、令和3年度全木連東北支部総会が開催された。本県からは、松田理事長が出席した。支部長齋藤渉(青森県理事長)、鈴木裕一(開催県理事長)挨拶で始まり、第1号議案令和2年度事業報告・収支決算、第2号議案令和3年度事業計画・予算案について報告があり、異議意見無く承認された。第3号議案役員改選が提案され、支部長に日當和孝(岩手県理事長)、監事に佐藤好昭(宮城県専務)が推選され、11月の全木連臨時総会で承認される見込み。第4号議案次期支部総会の開催県は宮城県となった。山形県はその次で令和5年度になる見込み。これで予定した議事は無事終了し、本題の第56回全国木材産業振興大会の取組及び予算について、議論が始まった。開催予算や日時・会場等協議した結果、令和4年10月27日(木)に「けんしん郡山文化センター」(郡山市民文化センター)で開催することになった。今冬から大会に備えた準備が始まる。



10月は木材利用促進月間

4 中国木材の能代市進出について(情報提供)!!

中国木材株式会社(広島県呉市、堀川智子社長)の能代工業団地進出については、各方面から5月、7月、9月と情報を入手するたびに事業規模が拡大していく状況です。11月2日の日刊木材や秋田県業界関係者の情報によれば、1日秋田県庁で秋田県知事、能代市長と堀川社長による立地協定締結式を実施している。その規模は、当初の予定より工業団地の土地の買い増しができることになり、敷地面積は約26万㎡から31万㎡に拡充され、事業費も200億円から286億円(土地取得費を除く)、原木消費量も12万㎡/年から24万㎡/年に変更され、青森県や岩手県、山形県の本木もターゲットになっているという。原木購入価格については、再造林可能な価格での買取や安定的な原木購入を謳って、あまり高く買わないこととしているようだ。原木はA B C D材一括全量引き受ける意向だ。操業開始時期は、試運転開始時期として製材設備は令和6年1月、乾燥等は同年3月、集成材工場は同10月を予定している。バイオマス発電20メガワットは令和7年6月の見込みである。生産品目として、杉KD柱角・間柱を中心に、集成材用ラミナ、杉2×4スタッド、輸出用製材品も計画している。従業員は5年後250名体制(うち地元採用210名)を計画している。

5 R3 木材利用優良施設コンクール農林水産大臣賞受賞!!



株式会社シェルター(賛助会員)

10月29日木材利用推進中央協議会主催の令和3年度木材利用優良施設コンクールにおいて、(株)シェルター設計施工の高惣木工ビル(仙台市駅西地区)が農林水産大臣賞を受賞した。

この施設は純木造(軸組工法:スギ・ヒノキ)の地上7階建、延べ床面積1,131㎡で、全国どこでも製造できる小断面の一般的な製材品を活用した「束ね柱」や「合掌型合わせ梁」などを用いた耐火部材を開発・使用しており、全国初の木造7階建てビルとなった。また、SGEC認証材を使用した都市の木造化のモデル施設となった。仙台駅東口通路から北東方向に見える。



6 岸田内閣発足 農林水産大臣 金子原二郎氏就任等!!

令和3年11月1日現在の業界関係者の大臣等を紹介します。

- 農林水産大臣 金子原二郎 自民岸田派 長崎県平戸市生まれ 76歳
慶応義塾大学文学部卒 長崎県議、長崎県知事、衆議院議員、参議院議員（現在）
長崎県内では、諫早湾埋め立てや長崎新幹線誘致等で評価が割れている。
- 林野庁長官 天羽 隆（あもう たかし） 58歳 東京大学法学部卒（事務官）
前任の本郷浩二長官は技官（京大林学） 2年ごとに交替する慣例
- 東北森林管理局長 宮澤俊輔 56歳 東京大学農学部林産学科卒（技官）
木材産業課長、中部森林管理局長、独法農林漁業信用基金理事

7 11月以降の行事予定!!

日程	行事名	予定出席者
11. 3-4	東京MOCT I O N展示設営 (新宿 OZONE)	専務
11. 5	森林づくり推進大会運営委員会 (あこや会館)	専務
11. 8	置賜地区林業改善資金運営協議会 (置賜支庁)	専務
11. 11	最上地区 (木づかい積み木配布) (最上支庁)	専務
11. 12	J A S 検査員研修会 (Web 会議)	専務・検査員
11. 16	J A S 製材連絡協議会・プレカット協会 ・広葉樹利用拡大協議会合同研修会 (山形市)	理事長・副理事長 ・専務
11. 17	東京MOCT I O N (11/4-17) 撤去 (新宿 OZONE)	専務
11. 18	全木連等臨時理事会・総会 (江東区)	理事長
11. 24	合法木材・CWセミナー (山形市)	理事長・専務
11. 26	木産協第3回三役会 (山形市)	理事長等

8 日本百名山シリーズ紹介（日光白根山：ニッコウシラネサン）

山形からバイクで東北道を南下し、宇都宮から日光街道に入り東照宮前を通り抜け、いろは坂、中禅寺湖、戦場ヶ原を超え約4時間。湯元温泉キャンプ場に着く。ビジターセンターで奥日光の成り立ちを勉強し、湯元温泉源泉小屋など見学しながら、ビールと満天の星空で爆睡。翌日早朝、金精峠登山口から登山開始。いきなりの急登で全身びしょ濡れ状態。尾根道に出ると濡れたTシャツが一気に乾く。前白根山まで登ると、目の前に美しい火口湖と奥白根山が聳え立つ。日光白根山(2,850m)は北関東以北では一番高い山である。この山は裏側に群馬県丸山高原スキー場があり、中腹の火口湖付近までロープウェイで来ることができ、そこから山頂までは約1時間



金精峠から男体山と湯ノ湖



前白根山から奥白根山を望む

で登れる山である。今回は、天候にも恵まれ、登山口から山頂まで約3時間の登り（通常4時間超）であった。山頂からは、南側に尾瀬みみたいな戦場ヶ原と湯ノ湖が眼下に広がり、奥に男体山が構え、北側には新潟県境の谷川岳など三国連山や福島県境の至仏山や燧ヶ岳が見渡せる。結構な数の日本百名山が確認できる山だ。夏場は樹林帯も少なくやはり暑いけど、標高も高いので我慢できるというか爽快さもある。

9 改正公共建築物等木材利用促進法 ハンドブック ver.1 (抜粋)

○ 農林水産省では、建築物に利用した炭素貯蔵量をわかりやすく表示するためのガイドラインを定めました。

■ 趣旨

木材利用の一層の促進を通じた地球温暖化防止を図るため、建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量を国民や企業にとってわかりやすく表示する方法を示したガイドラインを定めたもの。

■ ガイドラインの内容

建築物の所有者、建築物を建築する事業者等が、HWP※の考え方を踏まえて、建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量を自らの発意及び責任において表示する場合における標準的な計算方法と表示方法を示すもの。

※Harvested Wood Products (伐採木材製品) の略で、京都議定書第二約束期間からパリ協定下において、国内の森林から伐採・搬出された木材を製材、パネルなどとして建築物等に利用した場合にその炭素貯蔵量の変化量を温室効果ガス吸収量等として計上できることとされている。

ガイドライン及び炭素貯蔵量計算シートを林野庁HP内の下記URLに掲載。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/mieruka.html>

〔炭素貯蔵量 (CO₂換算量) 計算式〕

$$C_s = W \times D \times C_f \times 44/12$$

C_s: 建築物に利用した木材 (製材のほか、集成材や合板、木質ボード等の木質資材を含む。) に係る炭素貯蔵量 (t-CO₂)

W: 建築物に利用した木材の量 (m³) (気乾状態の材積の値とする。)

D: 木材の密度 (t/m³) (気乾状態の材積に対する全乾状態の質量の比とする。)

C_f: 木材の炭素含有量 (木材の全乾状態の質量における炭素含有量とする。)

【表示例】

中層の木造ビルを想定した表示イメージ (例)

延べ床面積: 1,000 m²、木材利用量合計: 400 m³ (国産材 400 m³)

〇〇ビル (東京都〇〇区〇〇 〇〇) に利用した木材に係る炭素貯蔵量 (CO₂換算)

延べ床面積	国産材 利用量	国産材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
1,000 m ²	400 m ³	273 t-CO ₂	400 m ³	273 t-CO ₂

この表示は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」(令和3年10月1日付け3林政産第85号林野庁長官通知)に準拠し、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素(CO₂換算)の量を示すものです。木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物等に利用していくことは、「都市等における第2の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

【計算式】

$$\text{木材の材積 (m}^3\text{)} \times \text{密度 (t/m}^3\text{)} \times \text{炭素含有率} \times 44/12 = \text{炭素貯蔵量 (CO}_2\text{換算) (t-CO}_2\text{)}$$

【計算のイメージ】

- 構造材(製材) スギ 240m³ × 0.331 t/m³ × 0.50 × 44/12 = 145.6 t-CO₂
- 下地材(製材) スギ 80m³ × 0.331 t/m³ × 0.50 × 44/12 = 48.5 t-CO₂
- 構造用合板 スギ 80m³ × 0.542 t/m³ × 0.493 × 44/12 = 78.4 t-CO₂

文献により把握した樹種別、製材別の密度 (t/m³) を利用

文献により把握した樹種別、製品別の炭素含有率

炭素量を二酸化炭素量に換算

合計 273 t-CO₂

(責任者名) 〇〇 〇〇 (連絡先) TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

10 住宅着工状況(8月期)

令和3年8月期の県内新設住宅着工戸数は482戸となり、対前月比85.5%、対前年同月比89.3%、対前年累計比は99.7%となった。市町村別で山形市・東根市・鶴岡市・酒田市が伸びている。全国的には6か月連続の増で、特に持ち家の回復傾向が顕著である。

1 県内新設住宅着工戸数(令和3年8月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
8月	540	296	201	3	40	534	6	480	88.9%	304	10	166
R2.1月~8月	3,421	1,962	971	5	483	3,377	44	3,054	89.3%	2,171	63	820
9月	407	260	86	1	60	401	6	366	89.9%	289	7	70
10月	441	268	116	0	57	433	8	412	93.4%	314	9	89
11月	380	247	81	1	51	371	9	332	87.4%	262	3	67
12月	356	202	84	0	70	353	3	316	88.8%	223	5	88
03.1月	238	130	63	0	45	177	61	198	83.2%	148	6	44
2月	364	173	76	0	115	355	9	242	66.5%	180	4	58
3月	362	215	94	2	51	357	5	340	93.9%	231	5	104
4月	455	283	122	0	50	437	18	406	89.2%	337	7	62
5月	360	280	34	0	46	351	9	330	91.7%	283	4	43
6月	587	307	159	0	121	575	12	467	79.6%	338	8	121
7月	564	305	181	10	68	554	10	469	83.2%	352	6	111
8月	482	272	155	8	47	468	14	349	72.4%	286	5	58
対前月比	85.5%	89.2%	85.6%	80.0%	69.1%	84.5%	140.0%	74.4%	-	81.3%	83.3%	52.3%
対前年同月比	89.3%	91.9%	77.1%	266.7%	117.5%	87.6%	233.3%	72.7%	-	94.1%	50.0%	34.9%
02.1~当月計	3,421	1,962	971	5	483	3,377	44	3,054	89.3%	2,171	63	820
03.1~当月計	3,412	1,965	884	20	543	3,274	138	2,801	82.1%	2,155	45	601
対累計前年比	99.7%	100.2%	91.0%	400.0%	112.4%	96.9%	313.6%	91.7%	-	99.3%	71.4%	73.3%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和3年8月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	482	3,412	89.3%	99.7%	2,801
山形市	223	1,205	132.7%	127.0%	765
上山市	6	65	75.0%	101.6%	64
天童市	17	214	30.9%	68.6%	175
山辺町	2	38	40.0%	118.8%	36
中山町	1	16	16.7%	72.7%	16
東南村山	249	1,538	102.9%	111.5%	1,056
寒河江市	10	155	13.3%	84.2%	153
河北町	5	40	125.0%	72.7%	39
西川町	0	0	-	0.0%	0
朝日町	0	3	0.0%	27.3%	3
大江町	0	9	0.0%	90.0%	9
西村山	15	207	18.5%	79.3%	204
村山市	7	42	175.0%	110.5%	40
東根市	45	255	155.2%	71.4%	243
尾花沢市	0	18	0.0%	94.7%	17
大石田町	1	5	-	41.7%	5
北村山	53	320	143.2%	75.1%	305
村山地域	317	2,065	88.1%	100.0%	1,565
新庄市	18	95	450.0%	135.7%	95
金山町	1	2	-	66.7%	2
最上町	1	6	100.0%	66.7%	6
舟形町	0	8	0.0%	114.3%	8
真室川町	1	8	-	66.7%	8

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	1	1	-	33.3%	1
鮭川村	0	2	-	28.6%	2
戸沢村	0	5	-	-	5
最上地域	22	127	275.0%	114.4%	127
米沢市	26	184	200.0%	104.5%	179
南陽市	5	90	20.8%	86.5%	74
高畠町	5	46	45.5%	61.3%	45
川西町	4	31	100.0%	147.6%	30
東南置賜	40	351	76.9%	93.4%	328
長井市	9	72	47.4%	65.5%	71
小国町	0	5	0.0%	41.7%	5
白鷹町	4	30	200.0%	200.0%	30
飯豊町	1	15	100.0%	100.0%	15
西置賜	14	122	60.9%	80.3%	121
置賜地域	54	473	72.0%	89.6%	449
鶴岡市	45	412	90.0%	108.1%	363
三川町	0	17	0.0%	73.9%	17
庄内町	5	49	71.4%	125.6%	47
田川	50	478	86.2%	107.9%	427
酒田市	39	260	108.3%	102.8%	224
遊佐町	0	9	0.0%	45.0%	9
飽海	39	269	100.0%	98.5%	233
庄内地域	89	747	91.8%	104.3%	660

注:累計は令和3年1月~

11 住宅着工状況 (9 月期)

令和3年9月期の県内新設住宅着工戸数は482戸となり、対前月比100.0%、対前年同月比118.4%、対前年累計比は101.7%となった。市町村別では天童市・寒河江市・米沢市・鶴岡市が伸びている。全国的には7か月連続の増で、2019年同期並みに回復傾向にある。

1 県内新設住宅着工戸数(令和3年9月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
9月	407	260	86	1	60	401	6	366	89.9%	289	7	70
R2.1月~9月	3,828	2,222	1,057	6	543	3,778	50	3,420	89.3%	2,460	70	890
10月	441	268	116	0	57	433	8	412	93.4%	314	9	89
11月	380	247	81	1	51	371	9	332	87.4%	262	3	67
12月	356	202	84	0	70	353	3	316	88.8%	223	5	88
03.1月	238	130	63	0	45	177	61	198	83.2%	148	6	44
2月	364	173	76	0	115	355	9	242	66.5%	180	4	58
3月	362	215	94	2	51	357	5	340	93.9%	231	5	104
4月	455	283	122	0	50	437	18	406	89.2%	337	7	62
5月	360	280	34	0	46	351	9	330	91.7%	283	4	43
6月	587	307	159	0	121	575	12	467	79.6%	338	8	121
7月	564	305	181	10	68	554	10	469	83.2%	352	6	111
8月	482	272	155	8	47	468	14	349	72.4%	286	5	58
9月	482	266	161	0	55	473	9	374	77.6%	300	7	67
対前月比	100.0%	97.8%	103.9%	0.0%	117.0%	101.1%	64.3%	107.2%	-	104.9%	140.0%	115.5%
対前年同月比	118.4%	102.3%	187.2%	0.0%	91.7%	118.0%	150.0%	102.2%	-	103.8%	100.0%	95.7%
02.1~当月計	3,828	2,222	1,057	6	543	3,778	50	3,420	89.3%	2,460	70	890
03.1~当月計	3,894	2,231	1,045	20	598	3,747	147	3,175	81.5%	2,455	52	668
対累計前年比	101.7%	100.4%	98.9%	333.3%	110.1%	99.2%	294.0%	92.8%	-	99.8%	74.3%	75.1%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和3年9月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	482	3,894	118.4%	101.7%	3,175
山形市	117	1,322	86.7%	122.0%	859
上山市	7	72	350.0%	109.1%	70
天童市	28	242	133.3%	72.7%	201
山辺町	8	46	114.3%	117.9%	43
中山町	3	19	50.0%	67.9%	18
東南村山	163	1,701	95.3%	109.7%	1,191
寒河江市	32	187	133.3%	89.9%	185
河北町	6	46	100.0%	75.4%	45
西川町	1	1	-	100.0%	1
朝日町	1	4	-	36.4%	4
大江町	0	9	0.0%	81.8%	9
西村山	40	247	129.0%	84.6%	244
村山市	8	50	200.0%	119.0%	44
東根市	16	271	55.2%	70.2%	258
尾花沢市	5	23	250.0%	109.5%	20
大石田町	0	5	-	41.7%	5
北村山	29	349	82.9%	75.7%	327
村山地域	232	2,297	97.9%	99.7%	1,762
新庄市	10	105	76.9%	126.5%	105
金山町	0	2	-	66.7%	2
最上町	1	7	-	77.8%	7
舟形町	0	8	0.0%	100.0%	8
真室川町	2	10	200.0%	76.9%	10

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	1	-	33.3%	1
鮭川村	1	3	-	42.9%	3
戸沢村	0	5	-	0.0%	5
最上地域	14	141	93.3%	111.9%	141
米沢市	56	240	280.0%	122.4%	231
南陽市	8	98	33.3%	76.6%	82
高畠町	12	58	171.4%	70.7%	57
川西町	21	52	700.0%	216.7%	35
東南置賜	97	448	179.6%	104.2%	405
長井市	15	87	107.1%	70.2%	86
小国町	2	7	200.0%	53.8%	7
白鷹町	1	31	33.3%	172.2%	31
飯豊町	0	15	0.0%	93.8%	15
西置賜	18	140	94.7%	81.9%	139
置賜地域	115	588	157.5%	97.8%	544
鶴岡市	84	496	210.0%	117.8%	395
三川町	1	18	100.0%	75.0%	18
庄内町	5	54	500.0%	135.0%	52
田川	90	568	214.3%	117.1%	465
酒田市	28	288	70.0%	98.3%	252
遊佐町	3	12	-	60.0%	11
飽海	31	300	77.5%	95.8%	263
庄内地域	121	868	147.6%	108.8%	728

注: 累計は令和3年1月~